

## 沼津市新中間処理施設整備基本計画検討委員会議事録（第6回）

### 開催日時

平成27年6月9日（火）午後1時25分から午後2時20分まで

### 開催場所

沼津市民文化センター 第2練習室

### 議事事項

- (1) 前回議事録の確認
  
- (2) 課題の検討
  - ・基本計画（素案）及び提言書（案）のまとめ
  
- (3) 今後の予定

出席委員（12人）

欠席委員（3人）

沼津市出席者（10人）

清水町出席者（3人）

## 【前回議事録について】

前回議事録について確認を行い、委員会の承認を得た。

## 【主な質疑】

なし。

## 【課題の検討】

事務局から基本計画（素案）及び提言書（案）のまとめについて説明。

事業手法については、これまでの検討から DBO 方式に優位性があり、望ましい方式という方向であったが、BT0 方式にも利点があるため、市の長期財政計画や今後の金利動向等を考慮し、どの事業方式を採用するかは発注までに決定することとした。これにより、基本計画における総合評価としては、PFI 的手法で事業化するという方針を示すに留めることとした。

## 【主な質疑】

### ○委員長

これまでとの大きな変更点として、事業方式は DBO 方式が望ましいとしていたが、市の財政計画を考慮し、支出の平準化が図れる BT0 方式も含めて検討していくとのことであった。

### ○委員

PFI 的手法だと、運転管理を民間事業者が行うため、市が運転管理を行っていた今までと違い、何かあったときに市民から意見を言いづらくなるのではないかと。提言書中の「PFI 的手法であっても市民を疎かにしない、市も責任を持ってあたる」という部分について、現段階で具体的にどのような対処を考えているのか。

### ○事務局

PFI 的手法とした場合、市は安全・安心の確保という観点から業務をしっかりと監視していく。また、住民対応に関しても、明確な役割分担の上で、住民の方々からの相談に素早く対応できるよう担当職員を配置するなどの体制を確立していきたいと考えている。

### ○委員長

民間事業者の管理運営となると事務的な部分においても技術的な部分においても民間任せになるのではないかと危惧もあるが、一般廃棄物処理は市町村の事務として基本的に謳われているため、市民の相談に対しては市が責任を持って対応することが当然であると考え。技術的な問題に対しても市で回答できるように日頃から現場との接触を行っていくべきだと考える。

### ○委員

従来の方式では行政自ら運転し、監視も自ら行っていたが、PFI 的手法では、基準を守るような運転を専門業者が行い、監視を行政が行うという役割分担がはっきりするため、住民にとってもよいと考える。

民間事業者も SPC（特別目的会社）を立ち上げ、住民と積極的にコミュニケーションをとり、

良好な関係を築きながら運転管理している例もある。市もきちんと監視をしていくような体制になれば心配ないと思う。

#### ○委員長

寒い地方であるとヤードの凍結防止のために余熱を利用するなどの検討も必要であるが、沼津市ではそういった心配はないか。

#### ○事務局

真冬に路面が凍結することもあるので、余熱を利用し、滑らないようにすることなども発注時には検討したい。

#### ○委員長

地域経済への貢献・地域の発展ということについて基本計画では示さないのか。

#### ○事務局

具体的な考えを示すことは難しいが、施設周辺地域の方に喜んでもらえるような施設整備の方向を具体化したいと考えている。

#### ○委員長

全国的にみると、地域の特産物の販売や宣伝を行っている例もあるので参考にさせていただきたい。本来の目的である廃棄物の処理に、プラスアルファの要素を加えられるような検討をしていただきたい。

#### ○委員

新施設では埋め立てごみ③類（熱源利用プラスチックごみ）を焼却することとなる計画だが、市民は燃やすごみとして出すのか、それとも従来どおり月1回埋め立てごみとして分別して出すのか、細かい検討はいつするのか。

#### ○事務局

プラスチックのバケツなどの埋め立てごみ③類は、そのまま燃やすごみと一緒に焼却すると、熱量が高く、局所的に熱量が極端に高くなってしまう恐れがある。そのため、従来どおり分別して出していただき、破碎工程を経て、ごみ質が均一になるよう攪拌した上で焼却することを考えている。

#### ○委員長

提言書（案）に対して委員から事前に出された意見に、事業手法や環境拠点の項目の中で「市民対応」とあるのを、「地域住民対応」と表現して近隣住民にもっと配慮したものの方がよいとの

意見があった。それに対する市の考え方ももっともだと考えるが、やはり地元は施設整備を負担に思う部分があると思う。近年は新しい技術やアイデアによりこの種の施設も生まれ変わり、立派な施設となっているので、近隣住民に「作ってよかった、近くにあったよかった」と言われるようなものにしていただきたい。

#### ○委員

近隣住民に負担がかかることは拭えないと思う。地域でコミュニケーションが図れるような施設としたいとのことだが具体的な考えはあるか。

#### ○事務局

例として地域の方々が会合を開きたい時に場所を提供することなどを考えている。

#### ○委員長

気軽に入っていけるような施設にしてほしい。

### 【今後の予定】

事務局から、提言書の提出日時や基本計画（案）のパブリックコメントの実施時期等、今後のスケジュールについて説明を行った。

### 【主な質疑】

なし。

### 【委員長総括】

#### ○委員長

市は事業方式について、財政計画を踏まえて選択する余地を残すこととし、基本計画では DBO 方式に限定することなく、PFI 的手法で事業化という方針を示すに留めるとのことであった。

ごみの出し方についての意見もあったが、従来どおりを基本としているとのこと。今後のごみ量・質の変化を見ながら、計画を練り直す余地も残してほしい。

事務局から説明があったが、本委員会から市長あてに提言書を提出する。

### 【その他】

#### ○事務局

今回が最後の委員会開催となるので、本日の議事録は作成後各委員に送付し、意見を集約した上で公表する。

以 上